

普及活動情勢報告（令和3年12月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

香美地区ニラ部会の若手グループへの活動支援 ～グリーンカレッジ研修会の開催～



I o Pプロジェクトの取組
を紹介する普及指導員

12月13日にJA高知県野市支所において、グリーンカレッジ研修会が開催され、生産者7名が参加しました。グリーンカレッジは、ニラ部会の就農10年目までの若手の生産者が中心となって活動している組織です。

今回は、葉先枯れの発生メカニズムやその対処法等について、農業技術センターの研究者から講義を受けました。これからの時期の栽培管理に活かせる内容であり、熱心に受講している姿がみられ、大変勉強になったとの声がありました。

農業改良普及課からは、I o Pプロジェクトの取組について紹介し、SAWACHIの利用促進への働きかけを行いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して新規就農者等の支援を行います。

農業高校で出前授業を実施 ～高校生の就農意欲を喚起！～



生産者による高校生への
講義

12月20日に南国市の高知農業高校1年生33名を対象に、出前授業を開催しました。

農業改良普及課からは、就農時に利用できる就農支援制度を説明し、県外出身のイチゴ農家からは就農するまでの体験談を紹介しました。その後、農業技術センターの視察に行き、最近の研究内容などについて学習しました。

授業後にとったアンケートには、「農業はしんどくて休みがないと思っていたが、そうでもないことが分かった」、「農業は自動化が進んでいて将来農業をするときにはどんどん活用したい」などの意見があがりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して就農希望者が増えるよう取り組んでいきます。

土佐園芸生産組合の J G A P 内部監査を実施しました。



農薬の保管状況を確認する
普及指導員

J G A P 団体認証を取得した土佐園芸生産組合の来年2月の維持審査を前に、農業改良普及課は12月2日に団体事務局、6～10日には組合員の12農場を内部監査しました。

事務局監査では、事務局マニュアルの改定状況や教育訓練記録、アグリノートによる青ねぎの栽培状況を確認しました。一方、農場監査では、各農場の書類の更新状況や農薬・肥料の保管管理状況、作業員名簿の整備状況などを確認しました。

農業改良普及課は、今後事務局とともに各農場の改善点を確認し、全員が維持審査に向けた準備ができるよう支援を行っていきます。

冬季の温度管理を再確認！！～野市支部トルコギキョウ部会現地検討会～



温度センサーは吊り下げたら
えいってもんじゃないですよ！

11月18日、J A 香美地区花卉部野市支部トルコギキョウ部会が現地検討会を開催し、部会員8名全員が参加しました。

農業改良普及課からは、冬季の温度管理の目安、換気のタイミング、天窓や加温機の温度センサーの設置などについて指導しました。

生産者からは「自動天窓のセンサーに覆いとかしてなかった」、「加温機が動いてからハウスを閉めんといかんやったら、もっと遅くまでハウスにおらんといかんね」といった意見が聞かれ、温度管理への理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も個別巡回等を通じて温度センサー位置やダクト設置方法を確認し、温度管理の高位平準化を図り、トルコギキョウの冬季安定出荷を支援します。

おらんくの畑へようこそ！！～青年農業士中央東ブロック協議会～



フルーツマト農家の勇姿を
見事なカメラワークで捉える
若手普及員

12月4日、青年農業士中央東ブロック協議会が、大阪中央青果(株)主催のWEB配信イベント『オンライン農場ツアー』で高知県の農産物をPRしました。

農業改良普及課は、PR活動の準備や当日のWEB配信のセッティングを行い活動を支援しました。途中、参加者からの「キュウリ3分クッキングをしたい！」という急な要望にもしっかりと対応し、無事イベントをやり遂げることができました。

青年農業士からは「普及指導員のカメラワークも良くていい感じやった」、「無茶なお願いまで対応してくれてありがとう」といった声が聞かれ満足そうでした。

農業改良普及課は、今後も引き続き地域リーダー育成のため、青年農業士の活動を支援します。

高温期の生産安定に向けて ～やっこねぎ部会青年部勉強会～



勉強会の様子

11月25日にやっこねぎ部会青年部総勢10名が集まり、高温期の小ネギの播種技術改善試験ほ場で、収穫調査前の勉強会を開催しました。

農業改良普及課は、生育調査結果の概要と、後日行う収穫調査の内容について説明しました。種子の吸水処理によって発芽が早まったことは予想どおりの結果でしたが、草丈に違いがみられなかったことは予想外でした。

青年部部会員からは「品質に差があるように見える」、「収穫後の調査結果が楽しみや」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も小ネギの高温期生産安定技術の確立と、青年部の活動支援に取り組んでいきます。